



## 令和2年7月から一時多量ごみの許可業者による収集制度がスタートします。〈有料〉

これまで、引越しや遺品整理などで出た多量のごみについては、部屋の明け渡しまでに日にちに余裕がない場合や、休日にしか出せない場合など、どうしても市の収集日に出せない場合には、粗大ごみについては事前相談のうえ、生活環境事業所へ持ち込むこともできましたが、普通ごみや資源物は、通常の収集日に小分けにして排出をお願いしていました。

近年、高齢社会の進展などにより、遺品整理や施設入所等に伴う一時多量ごみのニーズが増加してきたことから、一時多量ごみの制度を整備することで、令和2年7月1日から一般廃棄物収集運搬業許可業者を利用した有料での排出が可能となります。

手続き、様式など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

川崎市 一時多量ごみ

検索

問い合わせ：環境局減量推進課 TEL 200-2580 FAX 200-3923



## 令和元年度航空機騒音観測結果

市では、中原一般環境大気測定局と麻生一般環境大気測定局に航空機騒音観測装置を設置し、騒音を測定しています。令和元年度（観測期間 平成 31.4.1- 令和 2.3.31）の航空機騒音観測結果は次のとおりです。

観測場所	観測回数※（回）			航空機騒音年間Lden値	騒音レベル最大値（dB）
	総数	70～80dB	80dB超過		
中原一般環境大気測定所屋上	3,804	936	60	41.4	90.1
麻生一般環境大気測定所屋上	6,600	485	13	40.4	85.9

…騒音レベルの目安…

70dB：新幹線の車内  
80dB：航空機の機内  
90dB：パチンコ店内

※観測回数は、暗騒音レベル（航空機が飛行していない時）より10dB以上大きい航空機騒音を観測した回数を示しています。

※Lden（時間帯補正等価騒音レベル）とは、夕方と夜間の騒音に重み付けを行い、1日に発生したすべての騒音の暴露量を合計し、1秒あたりの評価値として表したものです。

また、航空機騒音に関する意見は、航空機を所管する関係機関に伝え騒音の解消に向け取り組んでいます。

問い合わせ：環境局大気環境課 TEL 200-2531 FAX 200-3922



## セミの鳴き声に注目してみませんか？

セミの声が聞こえる季節になりました。市（かわさき宙と緑の科学館・川崎市公園緑地協会・環境局）では、多くの市民の皆様にご協力いただき2019年に市内30ヶ所の緑地でセミのぬけがら調査を行いました。その結果から、ヒグラシとクマゼミについて紹介します。

ヒグラシは、まとまった樹林を必要とするセミで、夕方頃に「カナカナカナ」と鳴きます。調査では、まとまった樹林が残る市内北西部だけではなく、市内中部の点在している樹林でもヒグラシの鳴き声やぬけがらが確認されました。クマゼミは、もともと西日本に生息するセミですが、最近、関東地方でも増えてきています。午前中に「シャアシャアシャアシャア」と鳴きます。調査では、市内での生息密度に違いがあることがわかり、川崎区でクマゼミが多く確認されました。

自宅の周辺での散歩の際など、今年の夏はセミの鳴き声に注目してみませんか？



問い合わせ：環境局環境調整課 TEL 200-3720 FAX 200-3921